

神戸市室内合奏団設立30周年記念シリーズ
第353回(神戸)・第354回(東京)定期演奏会



18世紀からロマン派へ
～ライプツィヒの音楽家たち～

ドイツロマン派の響き

PROGRAM

R.ワーグナー ジークフリート牧歌 WWV103

R. Wagner: Siegfried-Idyll WWV103

L.シュポーア ヴァイオリン協奏曲 第8番 イ短調
「劇唱の形式で」 Op. 47

L. Spohr: Konzert für Violine und Orchester Nr.8 a-moll "In Form einer Gesangszene" op.47

R.シューマン 交響曲 第2番 ハ長調 Op. 61

R. Schumann: Symphonie Nr.2 C-Dur op.61

[指揮] ゲルハルト・ボッセ

[ヴァイオリン] 郷古 廉

[管弦楽] 神戸市室内合奏団

神戸公演 2012/3/7(水) 18:30開演

神戸文化ホール 中ホール

■入場券販売場所

*神戸文化ホール プレイガイド	078(351)3349
●ローソンチケット	0570(000)407
	Lコード:54986
●アルチザン・ハウス	078(332)1579

東京公演 2012/3/11(日) 15:00開演

紀尾井ホール

■入場券販売場所

*カジモト・イープラス	0570(06)9960
	http://kajimotoeplus.com/
●チケットぴあ	0570(02)9999
	Pコード:155-196
*e+(イープラス)	http://eplus.jp/
*紀尾井ホール・チケットセンター	03(3237)0061

■入場料 (全席自由)

一般/前売 2,700円 (当日 3,000円)

学生(大学生以下)/前売・当日共 1,000円

※学生前売券は*印発売所のみ取り扱いになります。購入時に学生証をご提示下さい。

※就学前のお子様はご遠慮下さい。

※「神戸音楽友の会」会員の方は、無料でご鑑賞いただけます。

※やむを得ず、出演者、プログラムが変更となる場合があります。

主催/(財)神戸市演奏協会・神戸市・(財)神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール
お問い合わせ/(財)神戸市演奏協会 ☎078(361)7241 <http://www.kobe-ensou.jp/>

東京公演マネジメント/KAJIMOTO



文化庁芸術振興費補助金
(トップレベルの舞台芸術創造事業)

Profile

指揮 ゲルハルト・ボッセ

Gerhard Bosse

1922年ライプツィヒ近郊のヴルツェン生まれ。ヴァイオリンをE.ヴォルガント教授、ライプツィヒ音楽院ではW.ダヴィツソン教授に師事。在学中からゲヴァントハウス管弦楽団の代用メンバーを務め、第二次世界大戦中はリンツ帝国ブルックナー管弦楽団に所属し、フルトヴェングラーやカラヤン等のもと演奏活動に従事した。1946年ワイマール音楽大学の講師、'49年に教授就任。1951年ライプツィヒ放送交響楽団第一コンサートマスター、同時に母校ライプツィヒ音楽院の教授に就任する。1955年ゲヴァントハウス管弦楽団の第一コンサートマスターに迎えられ、同弦楽四重奏団第一ヴァイオリン奏者としての活動も開始。1987年に引退するまで、コンヴィチユニーラ歴代の指揮者、国際的なソリストたちと共演した。1962年ゲヴァントハウス・パッサ管弦楽団を創立、ソリスト兼指揮者として活躍した。同管弦楽団との演奏旅行で訪れた国々は、40か国にのぼる。1961年の初来日以後、日本での演奏は回を重ね、1980年霧島国際音楽祭を創立。2000年まで音楽監督、その後は名誉音楽監督として、更新の指導にあたった。1994年から通算7年、東京藝術大学客員教授を務め、以後日本に在住。

近年は指揮活動に専念し、ゲヴァントハウス管弦楽団や、新日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとする日本の主要オーケストラへの客演多数。1998年神戸市室内合奏団首席指揮者、2000年に音楽監督に就任。同年より新日本フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者、2002年ミュージック・アドバイザー。2004年4月からは、東京藝術大学チェンバーオーケストラ指揮者も兼任している。2006年には、同オーケストラを率いてヨーロッパ公演を行い、各地で高い評価を得た。2009年から、ジャパンアカデミーフィルハーモニック初代音楽監督に就任。

1962年と'86年にドイツ民主共和国国家賞、'72年ライプツィヒ市ニキシュ賞・芸術賞、'98年ドイツ連邦共和国第一等功労十字勲章を授与される。日本国内でも2005年神戸市文化賞、2007年音楽クリティック・クラブ特別賞、2008年エクソンモービル音楽賞本賞等の受賞歴がある。2011年、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団より名誉団員に指名される。元楽員からは1924年のユリウス・クレンゲル以来、87年ぶりの指名となる。



ヴァイオリン 郷古 廉

Sunao Goko

1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。

2006年第11回クーディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第1位（史上最年少優勝）。

2007年12月のデビュー以来、神戸室内合奏団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団を始めとする全国の主なオーケストラと共演。また、上田晴子、加藤洋之の両氏とリサイタルを行うほか、プラハ、ドイツにてコンサートをするなど、若き才能として期待を集めている。

現在、仙台育英学園秀光中等教育学校（高校3年）、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース（特待生）に籍を残しながら、ウィーンにおいて研鑽に励んでいる。ロームミュージックファンデーション奨学生。

これまでに、勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。国内外の音楽祭でジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。

使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ（Banat）。個人の所有者の厚意により貸与される。

神戸市室内合奏団 Kobe City Chamber Orchestra



今年度30周年を迎えた神戸市室内合奏団は、1981年に神戸市によって設立され、以来、神戸・大阪・東京なので演奏活動を繰り広げてきた。設立当時から高い演奏能力を備えていたが、1998年にゲルハルト・ボッセを首席指揮者に迎え、更に2000年にボッセが音楽監督に就任してからは、技術的並びに芸術的水準において飛躍的な発展を遂げた。また毎年のシーズン・プログラムにおいても、ボッセのアイデアによる充実した内容の魅力あふれる選曲で、各方面からの注目を集めている。

ハイドン・イヤー（2009年）までの2年間、合奏団とボッセは18世紀の作曲家の作品に精力的に取り組み、定期演奏会のシリーズにおいて、ハイドンの占める音楽史上の重要な位置とその偉大さを鮮やかに描き出すことに成功し、この事が高く評価されて文化庁の助成を受けることになった。内外の実力あるソリストたちとの共演も多く、今年3月の定期演奏会でのJ. S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲全6曲」における名演は記憶に新しいところである。2011年この年の6月定期の録音が神戸レックスよりLPの限定版として出された。また、2012年1月にはアルトゥスより前年の「ブランデンブルク協奏曲」がCD化されることが決まっている。

2012年度定期演奏会

年間テーマ「古典派と歩む一年～アンサンブルの極みを目指して～」

2012年 6月9日(土) 14:00開演 神戸文化ホール 中ホール 指揮/ゲルハルト・ボッセ

2012年 10月20日(土) 14:00開演 神戸文化ホール 中ホール 指揮/ゲルハルト・ボッセ

2012年 12月5日(水) 18:30開演 神戸新聞 松方ホール 指揮/ヨハネス・マイスル

2013年 3月7日(木) 18:30開演 神戸文化ホール 中ホール 指揮/ゲルハルト・ボッセ

東京公演 3月11日(日) 18:30開演 紀尾井ホール 指揮/ゲルハルト・ボッセ